

海外安全対策情報（令和7年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2024年の殺人事件の発生件数は、1,620件（前年比15.7%減）。クリチバ市における2024年の殺人件数は、173件（前年比17.6%減）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は、9.75件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2024年の麻薬の密輸・密売件数は、13,389件（前年比9.1%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、14,254件（前年比6.7%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシイ等）及び銃器類の密輸入ルートとなっており、密輸組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（令和7年度第3四半期）

- (1) 11月24日夕方、クリチバ市ポルタン地区 (Portao) ジョアン・ベッテガ通り (Rua Joao Bettega) とレプブリカ・アルゼンチナ通り (Avenida Republica Argentina) が交差する広場 (コレジオ・バゴッツィ総合学園 (Colegio Bagozzi) 付近) で銃撃事件が発生し、13歳の女子生徒が流れ弾で左太ももを18歳の青年が直接銃撃され脚と背中を負傷した。
- (2) 12月5日早朝、クリチバ市セントロ地区オゾリオ広場 (Praça Osorio、在クリチバ日本国総領事館から約400メートル) で、通行人の男性が犯人の男からタバコを要求され、男性が要求を拒否したところ、犯人は刃物で男性の胸部を刺した。男性は現場付近にいたクリチバ市警備隊員 (Guarda Municipal) に助けを求めた後、病院に搬送された。犯人はその場で現行犯逮捕された。

- (3) 12月1日(月)18時15分頃、クリチバ市ファゼンジーニャ地区
(Fazendinha) カルロス・クレムツ通り (Rua Carlos Klemtz) で発砲事件が発生。配車サービスの運転手が乗客を乗せて信号待ちをしていた際に、左後方の車両から銃撃を受け、破損したガラスにより運転手は腕を負傷した。運転手と犯人に面識はなく、交通トラブルが原因の事件とみられている。なお、後部座席に座っていた乗客に怪我は確認されていない。